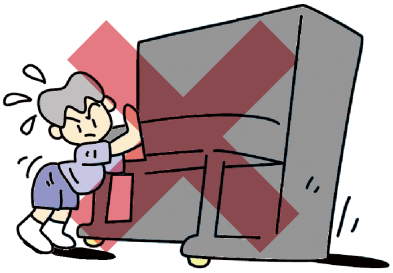
楽器を安全にお使いいただくために

1 楽器の設置と移動には注意してください

●楽器を段差のある床や傾いた床などに設置しますと、不安定になったり転倒するおそれがあります。
●ピアノはたいへん重量がありますので、移動には危険が伴います。児童・生徒様だけでの移動は絶対に行わないでください。移動の際には、専門業者にご相談いただくことをお薦めします。
●ティンパニ、マリンバなどの大型楽器につきましては、ご指導の先生方による十分な安全確認の下での移動をお願いいたします。
●車輪(キャスター)が備えられた楽器を移動する際は、滑らかな平坦面でのみ、ゆっくりと行ってください。傾いた所や凹凸のある道、じゃり道では車輪を利用した移動は行わないでください。楽器が止まらなくなって壁にぶつかったり、脚部が破損したり楽器が転倒したりするおそれがあります。また楽器によっては、力を加える位置や方向によりバランスをくずし、転倒するおそれがあります。
●車輪(キャスター)が備えられていない楽器を移動する際は、引きずらないでください。脚部の破損や本体の転倒のおそれ、また床を傷つけることがあります。
●電子楽器等を移動する際は、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行ってください。外れないコードは、まとめるなどして引きずらないようにしてください。コードを傷めたり、けがをしたりすることがあります。

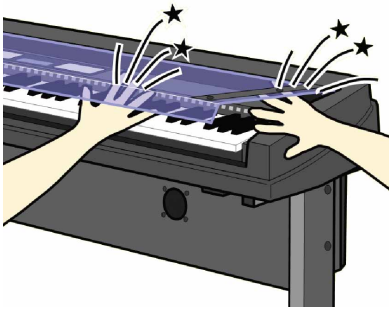


2 ネジはしっかり締め付け、ゆるみに注意してください

●楽器や椅子の組み立て時には、固定用ネジをしっかり締め付けてください。締め付けが不十分ですと楽器や椅子の転倒、部品の落下等によるけがの原因となります。
●長期間の使用で楽器や椅子のネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ状態で使用を続けられますと、ネジや部品が脱落したり楽器や椅子が破損・転倒してけがをするおそれがあります。ゆるんでいる場合はネジを締め直して使用してください。
●脱落したネジや部品は、踏んでけがをしたり、小さな児童・生徒様が誤って飲み込んでしまうおそれがあります。脱落したネジや部品を見つけた時には外れた箇所に取り付け直すか、児童・生徒様の手の届かないところに保管した上で点検・修理をご依頼ください。

3 楽器の可動部やすき間などでの手指や足の挟み込みに注意してください

●鍵盤楽器の鍵盤蓋(キーカバー)を開閉するときは、両手で静かに行い、途中で手を離さないでください。また、ご自分や周りの方、特に児童・生徒様などが、鍵盤蓋(キーカバー)の端と本体の間に手や指をはさまないよう注意してください。
●回転式の鍵盤蓋(キーカバー)では他の人が鍵盤蓋(キーカバー)に触れて倒さないように注意してください。
●現在販売されているほとんどの回転式の鍵盤蓋(キーカバー)には手を離しても鍵盤蓋(キーカバー)がゆっくり閉まる「ソフトランディング機構」が備えられておりますが、「ソフトランディング機構」が備えられていない楽器では特に手指の挟みこみに注意してください。
●グランドピアノの屋根の開閉は必ず大人が注意して行ってください。屋根は重いので手や指を挟むとけがをするおそれがあります。
●グランドピアノの屋根が開いているときは下に頭や体を入れないでください。万一、屋根が落下した場合に頭や体を挟んでけがをするおそれがあります。
●グランドピアノの屋根が開いているときは突上棒に触れないでください。突上棒が受皿から外れて、屋根が落下する場合があります。
●グランドピアノの屋根を開く際は、突上棒をセットする受皿を正しく選んでください。誤った受皿にセットしますと、支えが不安定となり屋根が落下する場合があります。また、突上棒の先端は受皿の中央に確実に入れてください。



●ドラムセットやペダルティンパニなど、可動部が剥き出しになっているような楽器では、楽器の操作時に可動部に手で触れたり足を入れたりしないでください。挟まれてけがをするおそれがあります。
●マーチングキャリングホルダーを装着し、楽器を折り畳んだ状態で保持する場合には、必ず楽器本体を両手で保持してください。楽器本体をしっかりと保持されませんと、楽器が前に倒れ、体のバランスを崩して転倒したり、とっさに楽器を支えようとしてチルトアップ機構の回転部に手指を挟んでけがをしたりするおそれがあります。

4 楽器内部に異物を入れないでください

●鍵盤蓋(キーカバー)や鍵盤のすき間などから楽器本体内部に、金属や紙片などを入れないでください。
●鍵盤蓋(キーカバー)を開けるとき、鍵盤蓋(キーカバー)の上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、雑音、動作不良、感電、ショート、火災や故障の原因になります。

楽器の内部に物を落としてしまった場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグ/アダプターをコンセントから抜いた上で(電池を使用している場合は、電池を本体から抜いた上で)、点検をご依頼ください。(有償修理)

5 楽器の椅子は正しく使用してください

●椅子で遊ばないでください。椅子から転落したり、椅子が転倒してけがをするおそれがあります。
●椅子を踏み台に使わないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
●椅子のボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。椅子が壊れてけがをすることがあります。ガタツキが生じている部分のボルトやネジを締め直して使用してください。
●背もたれがない椅子では小さな児童・生徒様の後方への転倒に注意してください。

6 楽器のまわりで遊ばないでください

●楽器に登ったり、下やまわりで遊んだりしないでください。滑り落ちたり頭をぶつけたりしてけがをするおそれがあります。
●楽器に寄りかかったり腰掛けたりしないでください。楽器が転倒したり、不意に動いたりしてけがをするおそれがあります。

7 故障状態を放置しないでください

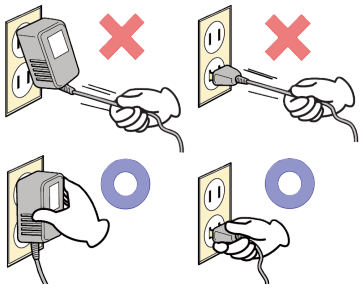
楽器や関連備品の故障状態を放置すると思わぬ事故が発生することがあります。

●鍵盤蓋(キーカバー)のソフトランディング機構が劣化や故障していると勢いよく蓋が閉じ、手指を挟むことがあります。
●ピアノカバー等が破れていると、鍵盤蓋(キーカバー)や屋根を開閉するときにひっかかり、蓋や屋根が落下することがあります。
●スタンドやキャリングホルダーなどのかしめなどが緩んでがたついた状態で使用していると、壊れて楽器が落下したりしてけがをすることがあります。
●ドラムやティンパニのヘッドの破れ目やマリンバなどの割れた音板の断面、切れた弦の先端は鋭利ですので、手を切るなどの危険があります。
●本体や周辺機器から異常な臭いや煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグや電源アダプターをコンセントから抜いてください。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜いてください。)感電や火災、または故障のおそれがあります。
●電源コードなどの被覆剥けを放置したり、ビニールテープなどで応急修理したりすると、感電したり、発煙・発火に至ることがあります。

故障に気づかれたら直ちに、お買い上げ店または各ページ記載の楽器別、修理に関するお問い合わせ・ご依頼窓口に点検・修理をご依頼ください。(※ピアノカバーの補修は承っておりません。)

8 電源コード、電源アダプターは正しく取り扱ってください

誤った取り扱いをされますと、感電したり、電源コード/アダプターまたは本体から発煙・発火し火災の原因となるおそれがあります。

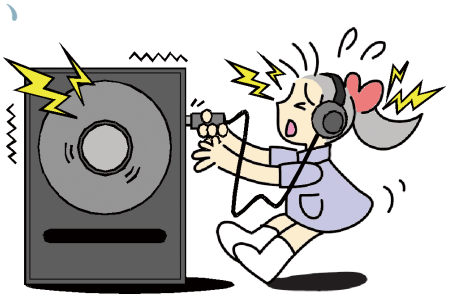


●電源コード/アダプターは、必ず楽器に付属していたもの、もしくは取扱説明書で指定されたものを使用してください。
●電源コード/アダプターの使用時や保管時には、電源コードを無理に曲げたり、電源アダプターなどに巻き付けたり、傷つけたりしないでください。
●傷んだ電源コード/アダプターを使用しないでください。
●電源プラグ/アダプターを抜くときは、コードを引っぱらずに、必ず電源プラグ/アダプター本体を持って引き抜いてください。
●コンセントに電源プラグ/アダプターを差すときは、プラグ部にアース端子を挟み込まないように注意してください。
●電源プラグ/アダプターのゴミやほこりは定期的に取り除いてください。

9 楽器や付属品などを振り回したり、投げたりしないてください

●楽器や演奏器具を振り回したり、投げたりなどの乱暴な取り扱いはしないでください。鋭利な部分が当たったり、部品やストラップが外れて落下したりして周囲の人を傷つけるなど、思わぬ事故の原因となります。
●楽器ケースやモニタースピーカーなどのキャリングハンドル(取っ手)を持って振り回さないでください。キャリングハンドル(取っ手)が破損して落下するなどといった事故が起こるおそれがあります。

10 大音量による聴覚障害に注意してください



●楽器をヘッドフォンや他の音響機器などと接続する場合は、すべての楽器や機器の電源を切った状態で行ってください。大音量による聴覚障害や、感電または機器の損傷の原因になることがあります。
●電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にしてください。さらに、演奏を始める場合もボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にしてください。大音量による聴覚障害や、機器の損傷の原因になることがあります。

11 児童・生徒様による誤飲に注意してください

●電池、SDカード、USBメモリーなどは小さな児童・生徒様の手の届くところに置かないでください。児童・生徒様が誤って飲み込むおそれがあります。
●オイルやポリッシュ類などのお手入れ用品を小さな児童・生徒様が口にしないよう、十分注意してください。児童・生徒様の手の届かない所に保管したり、楽器のお手入れは児童・生徒様のいない所で行うなど、お手入れ用品の管理には注意してください。

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。